



園だより



R7. 5. 30 (金)

教育と保育を総合的に提供する県知事認定子ども園
アリスこどもの家幼稚園

6月 は旧暦の和名で「水無月（みなづき）」と言います。梅雨なのに水が無いと書くのも不思議ですが、この場合の「無」は無いという意味ではなく、「の」という意味に使われているようです。つまり、6月 は「水の月」。子ども達にもこのような意味も伝えて梅雨も楽しんで過ごしていきたいと思ひます。

行事予定

4日(水) 検尿提出日
6日(金) 歯科検診
10:10~
17日(火) 弁当の日
18日, 19日(水、木) 身体測定
23日(月) 避難訓練(地震)
25日(水) 誕生会

スイミング...3日・17日
バレー教室...毎週水曜日
体操教室...毎週木曜日
サッカー教室...毎週金曜日

おた ゆきやくん
(1さい)

はしもと そうたくん
(2さい)

くろはら ふうかちゃん
(3さい)

はらだ はなちゃん
(3さい)

まつばら なるくん
(4さい)

やまなか みゆあくん
(4さい)

せのくち らいごうくん
(6さい)

いわきり あやせくん
(1さい)

まきの つむぎちゃん
(2さい)

まつうら えみりちゃん
(3さい)

こばやし あゆむくん
(4さい)

にいぼ じゅんたろうくん
(4さい)

かい あきほくん
(6さい)



子どもの姿

立つことや、ひとり歩きが出来るようになったり、スプーンを口に運べる様になったりと毎日、新たな成長を見せてくれます。名前を呼ばれると手を挙げてお返事したり、お友だちと、もにゃもにゃおしゃべりする姿がとても可愛ひです。
お仕事では、自分の好きな教具を見つけ、じっくりと取り組めるようになってきました。いちごさんはお喋りをしようとする姿が見られ、れもんさんは語彙数が増えたり、毎日楽しい会話が弾んでいます。
お部屋やお仕事の約束を覚えてきたうさぎ組さん。年少さんが分からないところは年長、年中さんが小さな先生となって教えていますよ。お仕事のときは集中する、遊ぶときは楽しむとメリハリをつけて過ごすように伝えています。
お集まりでは、発表の時間を多く作っています。「はい。」という返事や「です。ます。」をつけて話すことなどが意識できるようにしています。年少さん手も手を挙げて自分の思ひを発表できる様になってきています。
毎日の生活の中で、ロッカーの整理整頓、使ったものを綺麗に整える時間を作っています。自分の使ったものは最後まで責任を持って片付けをしたり、友だちと協力し合う姿も見られるようになりました。

らっこぐみ



絵本に夢中です
れもんグループ



お散歩気持ちいいね

いちごグループ



ポテトおいしいな



お水！気持ちいいよ！

うさぎぐみ



おそと気持ちいいな
ばんだぐみ



英会話



登り棒できるよ
きりんぐみ



英会話



図形のおしごと



はみがき



サッカー教室



じゃがいも掘り

お知らせ☆お願い

- 4日(水) は検尿の提出日です。配布された容器に4日の朝の尿を採取し、9:00までに登園し、提出をしてください。
- 6日(金) は10:10~歯科検診があります。歯磨きを済ませて9:00までに必ず登園してください。
- 皮膚病が流行する季節となりました。入浴、洗髪などをしっかり行って清潔にしましょう。
- 梅雨の晴れ間をみて園庭に出てあそぶこともあります。そんな日は洋服が濡れたりもします。風通しがよく、脱ぎ着がしやすい服で登園しましょう。

コラム

梅雨になると毎年必ず思ひ出す事があります。それは、大雨の降っているある朝のこと。幼稚園に登園する娘がずぶ濡れになって笑顔で「いいでしょ！」と応える姿です。その日は早番だったので時間に余裕もなく、「ちょっと待っててね。」と、声をかけ、玄関の扉を開けたまま私も出勤の準備をしていました。その間5分もあつたでしょうか。「さあ出発！」と出かけようと娘を見ると...そのような姿で遊んでいたのです。その姿に私は初めて感情的に娘を怒ってしまいました。「仕事に間に合わないじゃないの！」と...娘は雨に濡れる前に「傘は？」と声をかけていたようにも記憶にあります。私は「大丈夫！車で行くからいらないよ。」と応えていたのです。濡れた娘を登園させ、担任の先生に事情を話し、私の気持ちの都合で怒ってしまったことを反省した時、涙が溢れてきました。するとその時のベテランの先生が、「お母さんもお母さんになってまだ3歳ですよ。自分を責めないで！」「お迎えに来たらぎゅーっと抱きしめてね。」と声をかけてくれました。実に恥ずかしい話ですが、仕事をしながら子育てをするって時に心の余裕がなくなることもあると、実感した体験です。保護者の皆さんはそんなことはないと思ひますが、子どもの今をしっかりと見つめて、受け止めて、今でしか体験できないことを楽しんでほしいと思ひます。そして私のような失敗をしないでほしいとも願ひます。 大曲 郁美